

岡本の国会での質問

174-衆-決算行政監視委員会第一……-1号 平成22年05月17日

○宮崎分科員 時間となりましたので、これで最後にいたしますけれども、いずれにしても、私は今、金融政策がいいとか悪いとかの議論はしていませんし、短資マーケットが重要だとか重要でないとかという話はしていません。

ただ、そこに代表取締役が五人しかいないうちの四人まで日銀だ、十六人しかいない役員のうち六人が日銀だといえば、どんな疑いを招くかというのは想像できそうなものでしょう。それは、日本銀行の信認を失うことであり、ひいては日本の円の信認を失うことであり、そして、日本国民全体の不利益になるんですよ。それを重々考えた上で、きちんとこれは、総裁以下、幹部の皆様にも、役員の皆様にもお伝えをいただきまして、善処をお願い申し上げます。

以上で終わります。

○岡本(充)主査代理 これにて宮崎岳志君の質疑は終了いたしました。

次回は、明十八日午前九時から本分科会を開会することとし、本日は、これにて散会いたします。
午後四時二十三分散会